

原地区初の生活介護サービス 『わ・く・ら』の啓蒙活動

特定非営利活動法人わ・く・ら

団体概要

設立：2018年3月

ミッション：障害福祉サービス事業（生活介護）

活動内容：生活介護事業所わくら運営・啓蒙活動・教養娯楽活動・その他目的を達成するために必要な活動

所在地：沼津市原241-1

ホームページ：<https://npowakura.jimdofree.com/>

TEL/FAX: 055-968-5005

メール： wakura2020@ca.thn.ne.jp

動機・背景

沼津市には、障がいがあり常に介護等の支援が必要な方が利用する生活介護施設が不足している。市西部地区は、沼津特別支援学校はあっても、次の受け皿となる生活介護施設がない。長年、何とかならないかと思いつけてきた。私達が出来ることをしようという思いに変わり、2018年3月、NPO法人を立ち上げ、2020年4月、生活介護事業所を開所することを決めた。この事業は生活介護施設を必要とする障がいのある方とその保護者、及び地域住民を対象に生活介護施設への理解を深めてもらい、生活介護事業所わくらの存在を広く周知することを目的とする。

実施概要

生活介護事業所わくらが、原地区に開所すること、その生活介護事業所わくらの活動を利用希望者や地域住民に伝えるため、「わ・くらぶ(全4回)」を開催する。3月に建物が完成したら、施設見学体験会をする。

『わ・くらぶ・わくら見学体験会』スケジュール

『わ・くらぶ』

開催日時：5/18(土)・7/20(土)・9/21(土)・11/16(土) 10時～12時 会場：原地区センター

内容：利用希望者…ゲームや創作活動、ダンス、カラオケなどで集いの場を提供。

わくらの雰囲気に触れ、不安が少なく利用開始できることをねらう。

利用希望者家族、関係団体…並行して随時説明会を開き、本事業所の活動理念への理解を深める。

地域住民…ボランティアを募り、障がい者との関わりや生活介護事業の必要性を理解する機会にする。また、わくらへの協力を図る。

NPO法人 わく・くら

こんにちは、わく・くらです。
 昨年4月の開所に向けて、一人でも多くの方にわく・くらに参加していただき、わく・くらを知ってもらえるよう頑張っています。
 今回のわく・くらでは「わく・くらは楽しいところ」だけでなく、「働くところ」という意識にもつながっているように、創作活動なども取り入れていきたいと思っています。

第1回わく・くらぶ
 日時：平成31年 5月18日(土)
 場所：原地区センター 2階会議室
 時間：10:00~12:00
 活動内容：創作活動・歌など
 参加費：500円(飲み物・保険料・材料費含む)
 持ち物：個々に必要な物
 保護者説明会は行いません 個別の相談は受け付けます



地域の皆様へ

生活介護事業所をご存じですか？
 生活介護事業所とは、障がいを持っていて、常に見守りや支援が必要な方が、学校卒業後、通う施設です。
 沼津市にも、生活介護事業所はありますが、ほぼ定員いっぱいまで空きがありません。常に受け皿の不足が課題でした。
 何とかしたいという長年の思いから、私たち元特別支援学校教員で生活介護事業所を作りたいと思い立ち準備をしてみました。そして、この度2020年4月に、原地区に生活介護事業所わく・くらを開所する運びとなりました。
 わく・くらでは、簡単な作業、健康維持のためのウォーキングの他、創作活動や調理、音楽活動、園芸などを行っています。様々な場面で、地域の方々の経験やお知恵を貸していただけただけなら有難いです。
 地域の皆様のご理解とお力添えをいただき、わく・くらの利用者もお手伝いして下さる皆様も笑顔になり、元気になれる事業所にしていきたいと思っています。今後、ご支援ご協力の程よろしくお願致します。

生活介護事業所わく・くら 一同

NPO法人 わく・くら

こんにちは、わく・くらです。
 目を過ごすことに参加して下さる方や支えてくれるボランティアさんも増え、楽しい交流の輪が広がりました。
 今年度のわく・くらも残すところあと3回です。「こんな事業所もあるんだ」ということを知っていただくための機会になると思いますので、ご参加お待ちしております。

第2回わく・くらぶ
 日時：令和元年 7月20日(土)
 場所：原地区センター 2階会議室
 時間：10:00~12:00
 活動内容：創作活動・歌など
 参加費：500円(飲み物・保険料・材料費含む)

第1回のわく・くらぶではタイトルを使ったコースター作りや、ゲーム、ダンスをしました。参加者の方々と同じ年齢のボランティアさんもたくさん来てくれて、楽しい交流の時間も持てました。



生活介護事業所 わく・くら

こんにちは、わく・くらです。
 わく・くらで行っている創作活動や、ゲームには、「楽しむ」だけでなく、手指の使い方、形色のマッチングなど学習的な要素を取り入れた活動になるよう工夫しています。一人ひとり取り組む時間は異なりますが、自分で考え、やり遂げた時の笑顔がみんな輝いています。
 わく・くらぶも、あと2回で終了。楽しい時間が過ぎるよう頑張りたいと思います。

第3回わく・くらぶ
 日時：令和元年 9月21日(土)
 場所：原地区センター 2階会議室
 時間：10:00~12:00
 活動内容：創作活動・歌など
 参加費：500円(飲み物・保険料・材料費含む)
 持ち物：個々に必要な物
 保護者説明会は行いません 個別の相談は受け付けます



生活介護事業所 わく・くら

こんにちは、わく・くらです。
 コースター作り、写真立て作り、ゲーム、ダンスなど、いろいろな活動も行ってきたわく・くらも今更で盛況となります。
 「どんな人たちと出会えるのだろうか?」「どんなことをしたらみんなでお楽しみできるのかな?」わく・くらぶの話し合いや準備もしながら、スタッフ一同、ワクワクしていました。
 これからわく・くらは来年4月から夏の良いサービスも提供できるよう、最終準備にかかります。今まで参加してくださったみなさん、本当にありがとうございました。

第4回わく・くらぶ
 日時：令和元年 11月18日(土)
 場所：原地区センター 2階会議室
 時間：10:00~12:00
 活動内容：創作活動・歌など
 参加費：500円(飲み物・保険料含む)
 持ち物：個々に必要な物
 保護者説明会は行いません 個別の相談は受け付けます

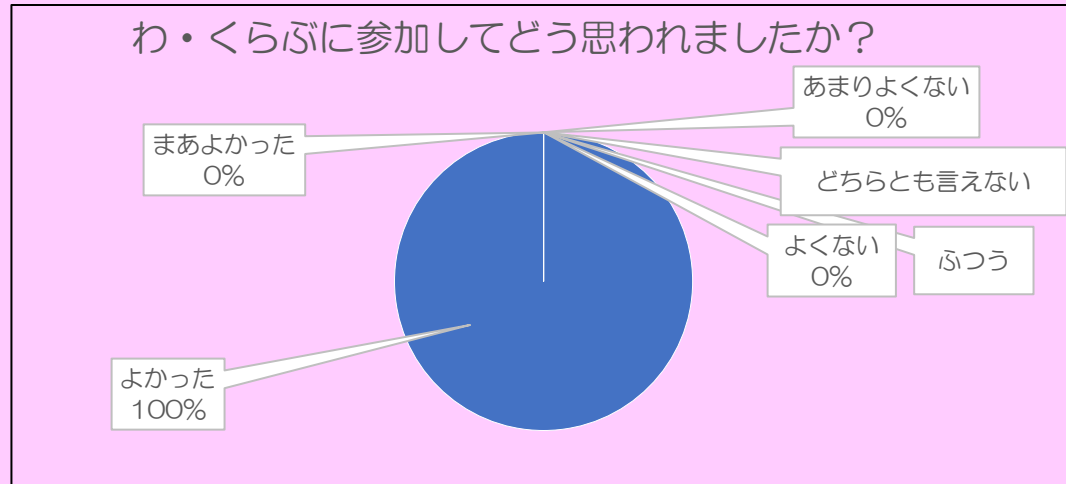


毎回、案内チラシを配布

『わくら見学体験会』
 開催日時：3/22(日) 23(月)
 10:00~ 11:00~ 13:00~ 14:00~ 15:00~
 会場：わくら
 内容：完成したわくらを見学・生活体験
 参加者：利用希望者とその家族・関係団体・地域住民

成果指標と結果 (参加延べ人数と わ・くらぶアンケート)

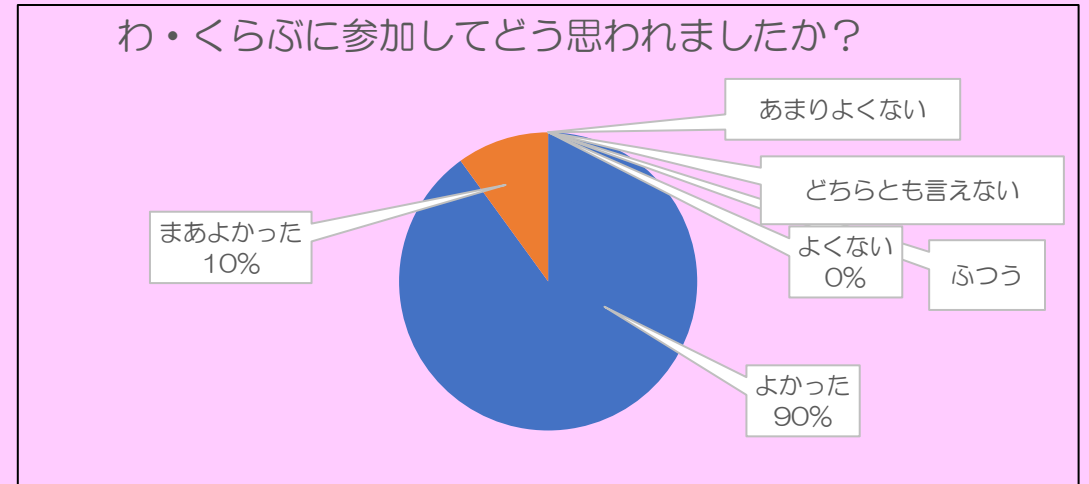
利用希望者家族・・・わ・くらぶ利用希望者参加延べ50名



- ・娘の対応には色々大変な部分があるが、スタッフの温かい心遣いのおかげで、緊張しつつも落ち着いて参加できていた。
- ・ボランティアの方々の対応もありがたかった。
- ・回を重ねる度に、本人も少しずつ慣れてきて、わ・くらぶに行くことをとても楽しみにしていた。
- ・毎回新しい顔ぶれがあり、ボランティアの方々もいらっしゃるので適度な緊張感や刺激があって良いと感じている。
- ・親と離れ、出来るだけ自分の力で頑張っている様子が見られた。
- ・わかりやすい合図を用いて一生懸命関わって下さって、本人が久しぶりに笑顔で反応することができた。
- ・やはり、人の中で育つんだなあと改めて実感した。
- ・こういう施設ができることを望んでいた。

施設見学体験会参加者107名

地域住民(ボランティア)・・・わ・くらぶ参加延べ54名



- ・今まで小中学校で特別支援のクラスはあったけど、深くかかわったことはなかったので、今日初めて接し方が分かった。
- ・マカトンサインを教えてもらったのだが、活かすことが出来なかったので、次の機会に使ってみたい。
- ・身ぶり手ぶりでも、会話ができて楽しかった。
- ・スタッフの雰囲気がいいです。
- ・障害を持った方達と仲良く接することができ、貴重な経験になった。ゲームやダンスなど一緒にできて、とても楽しかった。
- ・障がいのある方々が、積極的に参加していて、うれしくなった。
- ・以前から、障がいのある方達と関わって、何かの役に立ちたいと思っていたので、また、参加したい。
- ・こういう事業所があると初めて知った。

事業効果

地域の方・生活介護事業を必要とする障害のある方とその家族に、わくらの活動理念を伝えることができた。
多岐にわたるネットワークを築くことができた。(右図)

今後の課題

2020年4月から開始する生活介護事業所わくらを軌道に乗せる。

今後の活動予定

わ・くらぶは、当面、わくら利用希望者に限定し、障がいのある方の休日の活動の場、学生・中高年の方のボランティア体験の場として行っていくが、わくらの運営に余裕ができたなら、利用希望者に限定せず実施できるか考えていきたい。
わくらの拠点ができたので、近隣住民の方との連携をとりながら、生活介護事業を進めていきたい。

自己評価

- ・わ・くらぶとわくら見学体験会を開催し、障がいのある方や地域の方に、生活介護事業に対する理解を深めてもらうことができた。
- ・高校生ボランティアなどに、初めて障がいのある方と触れ合う場を提供できた。

築くことができたネットワーク

